

西播医療安全ニュース

2022年2月（第39号）発行

兵庫県看護協会ホームページ掲載中

◆第2回 リスクマネージャー交流会～多職種実践報告会～

日時：2021年11月13日（土） 13：30～16：30 場所：商工会議所

【報告内容】

| 施設名 | 職位・氏名・職種 | 報告演題 |
|---------------------|-------------------------|---|
| ツカザキ記念病院 | 医療福祉・地域連携室 MSW 岩崎 寛広 | 医療安全と地域連携～MSWの取り組み～ |
| 介護老院保険施設 ケアホームみつ | 介護福祉士 坂田 京子 | 介護士の視点で医療安全に取り組んでいる事 ～安心安全な生活を目指して～ |
| 姫路赤十字病院 | 臨床検査技師 永谷 たみ | 病理診断報告書の確認忘れ防止のための取り組み ～患者さんのためにできること～ |
| 公立神崎総合病院 | 医療安全管理者 井奥 雅子 | 当院における医療安全の取り組み |

西播医療安全委員会では・・・

医療安全活動は**組織横断的に多職種と連携をとる**ことが必要とされています。交流会を通して、①情報提供や相互支援を行い、自施設や地域の医療の質向上につなげること、②施設内の課題や悩みを解決し医療安全活動を推進することを目的に、毎年「多職種実践報告会」を実施しています。

交流会を終えて・・・

グループワークでは「自施設での今後の活動を考える機会になった」「多職種でグループワークを行うことで多職種の意見や情報提供もあり、医療安全活動の視野を広げることができた」などの発表がありました。また、アンケート結果から「多職種と連携して医療安全対策に取り組みたい」「配薬カートについて参考になった」「検査技師の報告は準備時の録画や課題解決に向けて役立つ内容であった」「MSW介入の病状説明の同席は今後必要である」「転倒転落のリスクについて見守り体制や抑制に対する考え方について自施設で具体的に活用したい項目が挙がった」などの意見がありました。このことから今回の多職種実践報告会における交流会は大変意義のある交流会であったと思います。



◆ 当院での医療安全対策の取り組み紹介

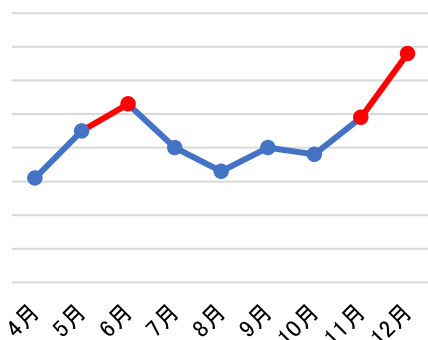
【医療安全推進週間】

厚生労働省は、11月25日（いい医療に向かってGO）を含む1週間を「**医療安全推進週間**」と定めており、今年度は11月21日（日）～11月27日（土）でした。当院では、毎年この期間、各部署で医療安全について特に強化したいことをテーマに取り組みを行っています。



『指さし呼称の強化』『5Sの徹底』等、各部署様々なテーマを掲げる中、看護部では、看護部安全対策委員会の活動目標、『ヒヤリハット報告を増やし、医療事故を減らす』ための起爆剤として、『ヒヤリハット報告を積極的にします』を看護部統一テーマとして取り組みを行いました。

ヒヤリハット報告件数



その結果、看護部のヒヤリハット報告件数は11月以降増加し、12月からの医療事故は減少傾向となっています。

当たり前のことかもしれませんが、テーマを決め、掲げただけでは、なかなか変化には繋がりません。医療安全推進週間のアナウンスや、テーマ・目的の説明や周知、スタッフへの報告の促しや必要性の説明等を含め、日々の安全対策委員の地道な活動があること、そしてそこに管理職者の支援が加わり、スタッフからの反応としてヒヤリハット報告件数の増加に繋がったのだと考えます。

今年度は前述の医療安全推進週間以降、そしてヒヤリハット報告の重要性について学ぶ機会とした医療安全研修会を開催した6月にヒヤリハット報告件数が増加しました。これを一時的なものではなく継続すること、みんなが当たり前に報告できるようになり、医療安全の向上に繋げていけるよう、今後も取り組んでいきたいと考えています。

* 研修のお知らせ

令和4年6月4日（土）13：30～16：30 姫路商工会議所にて

医療安全研修会（弁護士による対応困難事例への対応（仮題））を行います。

弁護士との事例検討会

参加ご希望の方は、事務局までご連絡ください。

奇数月第3火曜日 16時30分～18時00分 姫路商工会議所（参加無料）

発行元：兵庫県看護協会西播支部 医療安全委員会

事務局：公立神崎総合病院 井奥雅子

電話：0790-32-1331 FAX：0790-32-2176

e-mail：m-ioku@kanzaki-hp.jp

※コロナ禍のため開催が中止になることもあります。